

計画どおり進んでいるか

遅れもあるが加速したい

問 復興事業は計画どおり順調に進んでいるか。27年度の災害公営住宅への入居可能数、高台移転の建築可能数、北浜団地の予定は。

佐藤町長 用地関係や防潮堤工事の調整で遅れている地区もあるが、復興を加速させたい。27年度末には災害公営住宅は110戸の入居、高台移転は273戸の建設が可能になる。北浜団地は入札不調により半年遅れで28年9月に完成予定。

問 浸水地域の土地利用計画は。

町長 災害危険区域に指定し、産業用地や公園などに活用したい。田の浜地区については公園事業



北浜地区の災害公営住宅

児童生徒の心身への影響は

一人一人に寄り添った指導を

問 仮設住宅での生活が長引くことにより、児童生徒の心身に影響が出るのでは。

佐々木教育長 配慮が必要な児童もいるが、全体的に落ち着いている。今後も一人一人に寄り添った指導を行っていく。

問 子育て支援、食育教育の面からも学校給食の実施が望まれている。実施に向けた計画は。給食についての見解は。

町長 学校給食事業は凍結している。再開の時期については、復興の進行状況を見て対応したい。

教育長 学校給食の必要性は認めるが、今は復興第一と考えている。

問 町の創生・再生のための学芸・研究機関の誘致を国・県に働き掛けては。

町長 一つの方策と思うが、現時点では検討していない。将来の課題と捉えたい。

NPO問題 解決をどう考えているか

裁判中であり現時点では語れない

問 町はNPO問題をどのような形で終結させたかと考えているか。

町長 訴訟の目的は裁判を通して問題を整理し、町政の秩序を保つとともに、職員に対し法令順守の徹底を図ることにある。民事訴訟は損害賠償を求めたものである。刑事事件は横領として告訴。6人が逮捕起訴さ

れ、一審で4人が有罪。終結の考えは現段階では言えない。

問 裁判で行政責任も明らかになると述べているが、どういうことか。

豊間根総務課長 裁判を通じ、NPO元代表が何かを語るにより、真相が解明されるのではないか、という意味である。

その他の質問

◆ 山田線駅舎を交流施設に

◆ 町の総合戦略に若者・女性の声を

◆ 生命尊重に通じる防災教育を

◆ いじめ、不登校のない学校に



田村剛一議員
(未来クラブ)